



# 福岡大学法科大学院

# 2024

Institute for Legal Practice  
Fukuoka University



# Message

## 困難な状況にある人々に 法的な希望の道を示せる 法律家を目指して

この社会には、さまざまな困難に直面し法的な助けを必要とする人々がおられます。そうした場合に必要な存在が頼れる法律家です。

頼れる法律家になるためには様々な努力が必要です。多種多様な市民が存在する社会における多種多様な困難に対しては、一面的な対応では限界があります。さまざまな法的制度や、場合によっては法的制度を超えた人間的な方策等に関し、過去や現在の法律、過去や現在の法律学者の見解、過去の紛争事案に関する先輩法曹人の主張や、それを受けた裁判所の解決例及び現在以降の動向などを、理解し、分析し、検討し、議論し、そして、自分なりの解決策を提案する、といった努力が求められます。本法科大学院は、そうした努力を継続しようとする皆さんを全力でサポートする場所です。

本法科大学院では、皆さんに、対教員や対学生のほか、チューターやアカデミックアドバイザーをはじめとする様々な先生方を相手とする討論や質疑応答を実践して頂きます。こうした実践を続けることにより、少しずつではあっても、次第に頼れる法律家に近づくことができるのです。

頼れる法律家を目指した初心を維持し続けることは必ずしも容易ではないかも知れません。時には、初心から逃げ出したくなることもあるかも知れません。そんな時は、このガイドブックを手にした時の新鮮な気持ちを思い起こしてください。本法科大学院は、そうした皆さんの新鮮な気持ちが実現するための応援を全力で継続していきます。

法科大学院長

雨宮 啓 AMEMIYA Hiroshi

## Content

院長メッセージ	1	サポート体制	7
教育理念・教育方針・養成する法曹像	2	教員紹介	9
法科大学院の特色	3	学修環境	10
法曹になるまでのプロセス	4	在学生の声	11
カリキュラム	5	司法試験関連・合格実績	12
司法試験在学中受験プログラム	6	入試情報 学費・奨学金	13
長期在学履修制度			

# 福岡大学法科大学院では、 人間性豊かで専門性を備えた 真のプロたる法曹を育成します



## 社会正義を実現する法曹

**人権を擁護する身近な弁護士、世の中の公正を追求する裁判官、社会正義の実現を目指す検察官など幅広い人材を養成します。**

本法科大学院は、市民に信頼され、十分な法的サービスを提供できる豊かな人間性を身につけた法曹、すなわち、地域社会における身近な弁護士として、市民の人権、平穏な生活、権利利益を擁護する法曹を養成するとともに、世の中の公正を追求する裁判官、社会正義の実現を目指す検察官など幅広い人材を養成し、市民が安心して暮らせる法的環境の整備を目指しています。



## 社会の発展に貢献する法曹

**企業、自治体、NPO など、様々な領域の社会活動を支える法曹を養成します。**

地域の人々が豊かで快適な生活を実現し、尊厳ある人生を全うするためには、その基盤となる地域経済はじめ地域社会全体の発展が不可欠な条件となります。

九州・山口地域は、アジアの玄関口としての福岡を中心として、多数の優良な地場企業が優れた技術力や人的資源を背景に経済的な飛躍を遂げるに十分な基盤を形成しつつあります。

このような地域経済の基盤となる企業に対して良質な法的サービスを提供できる弁護士を養成していきたいと考えています。また、企業はもとより地方自治体、NPO 等の組織で活躍する組織内弁護士（インハウスローヤー）への期待が高まっています。本法科大学院は、このような期待にも応えていきたいと考えています。



## 地域のあらゆる法律問題に対応できる法曹

**地域に根ざし、地域に通じ、幅広く人々の暮らしを支える法曹を養成します。**

福岡など九州・山口地域の中心都市で活躍する法曹には、専門性の高い分野に特化して、高度な法的サービスを提供するスペシャリストとして社会に貢献していく道もあります。法学以外の専門教育を修得した人材に高度な法学教育を提供し、多様な専門知識や経験に裏付けられた新しいタイプの法曹を社会に輩出することもまた本法科大学院の使命であると考えています。

アジアと密接な関係を持つ福岡の地理的条件から、人々の交流や企業活動は国境を越えて展開しており、今後ますますこの傾向が強まっていくものと思われます。そして、これにともなって九州・山口地域という地域社会にあっても、国際的な経済活動や取引分野に実務法曹として活動の場を求めようとする人々が増加するものと予想され、これらの人々のニーズに応えることもまた本法科大学院の使命であると考えています。



# 福岡大学法科大学院の特色

## 01 一人ひとりに寄り添いきめ細かに指導する 徹底した学修支援

本法科大学院は各学年20人定員で、教員と学生の距離をできるだけ縮めて、一人ひとりに寄り添いきめ細やかな個別指導を徹底する学修支援体制をとっています。

法科大学院棟内の自習室フロアのすぐ上に専任教員の研究室があるため、学修中に生じた疑問点を、直接研究室に行きすぐさま納得のいくまで質問し、解決することができます。

また、授業以外のマンツーマン指導や自主ゼミなど、正規のカリキュラムのほかに徹底した学修支援体制も整えています。例えば、8月の「短答集中ゼミ」や司法試験前の「もう一押しゼミ（論文対策）」では、教員が司法試験の受験対策支援を行っています。(P.7参照)



## 02 法学未修者教育の充実

入学者のほとんどが法律の知識を必要としない法学未修者であることが本法科大学院の特色の一つです。令和5年4月現在では、在籍者のうち既修者コース（法律基本科目の基礎を修得済み）が1人、残り全員が未修者コースでの入学者です。創設以来の修了者も199人のうち未修者コースでの修了者は183人と、92.0%を占めています。

また、平成26年度に行った未修者教育に重点を置いたカリキュラム改正後の修了者（平成28～令和3年度未修者コースでの修了者：計33人）から、未修者コース修了1年目での司法試験合格者を8人輩出しています。（令和2年度修了者10人中2人、令和3年度修了者6人中3人）（P.5・6参照）



## 03 入学前のサポート体制の強化

法学未修者の入学者が多い本法科大学院では、受験前から法科大学院の授業を実際に体験することのできる制度を充実させています。【授業体験、早期履修制度（本学法学部在学生対象）、科目等履修制度】

また、本法科大学院の入学者選抜に合格された方への入学前教育として、プレセミナー（憲法、民法、刑法、法情報・法文書入門）、在学生や修了弁護士との懇談会などを開催し、入学後の授業にスムーズに入ることのできる環境を整えています。(P.7参照)

さらに、入学予定者が学修上の相談ができるように入学前から、専任教員が仮の担任として1人ひとりに付きサポートします。

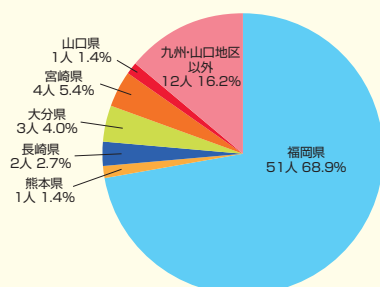


## 04 少人数教育の効果が現れた合格実績・ 地域社会に貢献する法曹の輩出

現行の司法試験は令和4年までに17回実施されています。本法科大学院からの司法試験合格者は81人を数え、累計合格率は42.86%となっており、創設以来、堅実に司法試験の合格者を輩出し続けています。

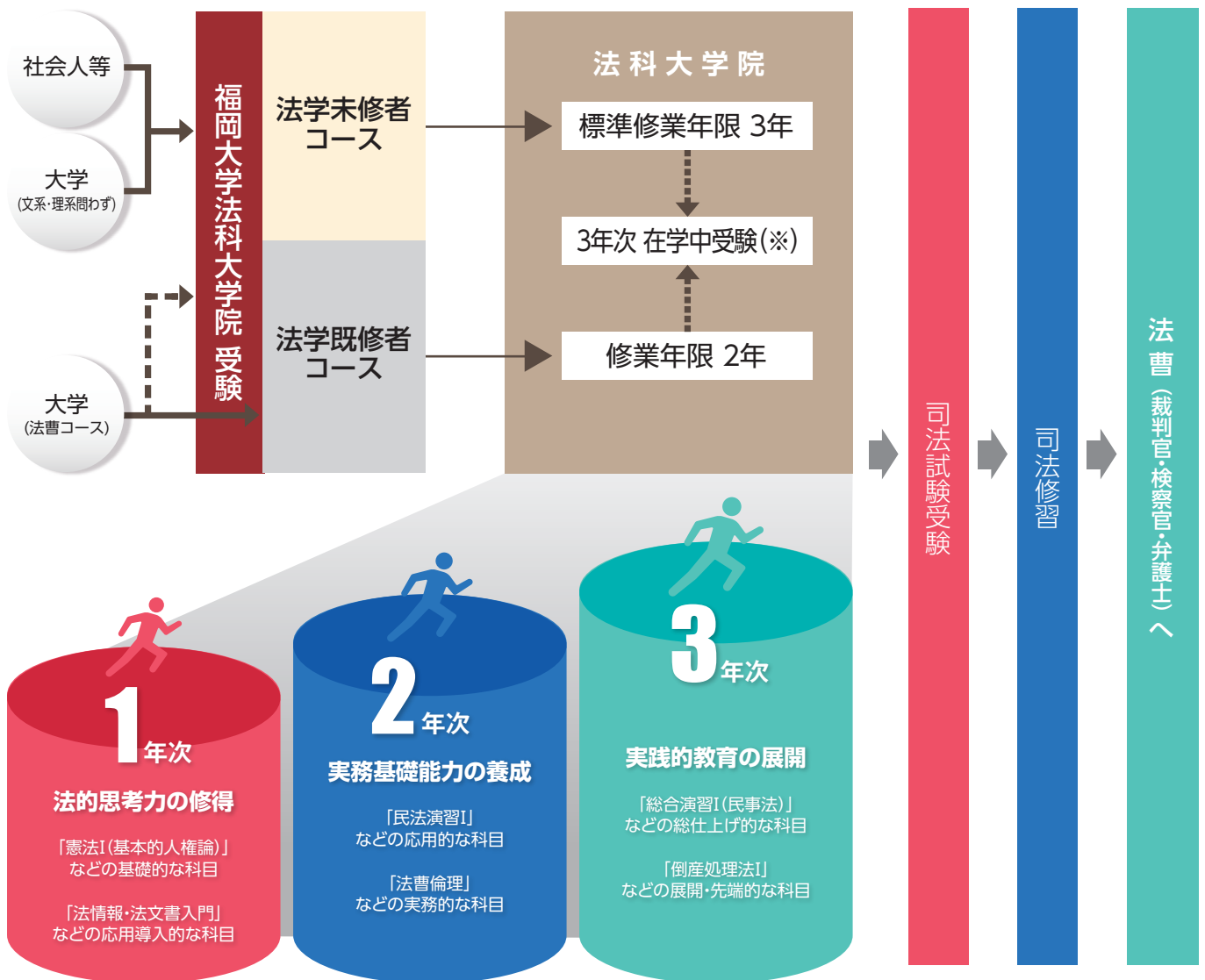
また、本法科大学院修了弁護士の九州・山口地区での登録の割合は、83.8%（令和5年4月現在）となっており、本法科大学院が教育理念に掲げる「地域に根ざし、地域に通じ、幅広く人々の暮らしを支える法曹」を着実に輩出し続けています。(P.12参照)

本法科大学院修了生 弁護士登録地域





## 福岡大学法科大学院から法曹へのプロセス



※「司法試験在学中受験プログラム」を履修し受験資格の要件を満たす必要があります。

法科大学院の課程を修了することにより、法務博士の学位のほか司法試験の受験資格を得ることができます。また、令和5年司法試験から、新たに、法科大学院の課程に在学する者であって、一定の要件を満たした者についても司法試験を受験できることとなります。司法試験に合格し、司法修習生として採用され、司法修習の最終試験に合格すると、裁判官、検察官、弁護士となることができます。

本法科大学院では皆さんが将来、実務法曹として活躍するうえで必要となる能力を十分に修得することができるようにカリキュラムを編成しています。

下位年次では、基本となる法的思考能力の修得をめざし、法律基本科目を中心として配置し、法の理論教育を徹底して行っています。上位年次では、専門的な実務教育を展開し、総合的な問題解決能力を養います。また、法の理論教育と実務教育では、相互の関連性に親んでもらい、それぞれの深い理解を得ることも目指しています。



## 法的思考能力を効率的に修得できる、体系的なカリキュラム

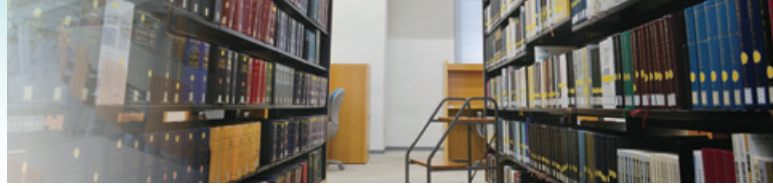
本法科大学院では、少人数での授業を通じて、法の理論と法的思考能力を身につけます。  
法律問題が専門化、多様化、複雑化する現代において、問題解決のあり方や技術を体得できるカリキュラムが整っています。

## カリキュラム (令和5年度入学生適用)

※○は必修科目、△は選択必修科目  
単位：2単位 (但し、「判例講読」、「刑事実務演習」、「ハラスメント問題の法律実務」は1単位、  
「特別演習ⅠB・ⅡB・ⅢB」は4単位)

	第1年次	第2年次	第3年次
法律基本科目	<b>基礎科目</b> ○ 憲法Ⅰ (基本的人権論) ○ 憲法Ⅱ (統治機構論) ○ 行政法Ⅰ (行政過程論) ○ 民法Ⅰ (総則) ○ 民法Ⅱ (物権法) ○ 民法Ⅲ (担保物権法) ○ 民法Ⅳ (債権総論) ○ 民法Ⅴ (契約法) ○ 民法Ⅵ (不法行為法) ○ 民法Ⅶ (家族法) ○ 民事訴訟法Ⅰ ○ 刑法Ⅰ (総論) ○ 刑法Ⅱ (総論・各論) ○ 刑法Ⅲ (各論)	<b>基礎科目</b> ○ 行政法Ⅱ (行政救済論) ○ 商法 ○ 会社法Ⅰ ○ 会社法Ⅱ ○ 民事訴訟法Ⅱ ○ 民事訴訟法Ⅲ ○ 刑事訴訟法Ⅰ ○ 刑事訴訟法Ⅱ	<b>基礎科目</b> ○ 総合演習Ⅰ (民法法) ☆ ○ 総合演習Ⅱ (公法) ☆ ○ 総合演習Ⅲ (刑事法) ☆ 憲法演習Ⅱ 行政法演習Ⅱ 商法演習Ⅱ 刑事訴訟法演習
	<b>応用科目</b> 憲法演習Ⅰ 民法演習Ⅳ 刑法演習	<b>応用科目</b> ○ 民法演習Ⅰ ○ 民法演習Ⅱ ○ 民法演習Ⅲ 行政法演習Ⅰ 民事訴訟法演習 商法演習Ⅰ	<b>応用科目</b> ○ 民事実務演習 家事事件処理手続論 民事紛争処理手続論 リーガル・クリニック リーガル・コミュニケーション演習 エクスターンシップ
法律実務基礎科目	法情報・法文書入門	○ 法曹倫理 ○ 民事実務基礎論 ◇ ○ 刑事実務基礎論 ◇ ○ 刑事実務演習 ◇ 要件事実論 企業法務論	
基礎法学 隣接科目	紛争処理の法理論 法と行政	法と企業会計 アジア法制度論	法と情報 外国文献講読
			法と医学
	<b>法科大学院連携科目 (2・3年次)</b> 協定に基づいて、福岡県弁護士会が派遣した講師が他法科大学院で行う科目を受講することができます。 ▶ 九州大学 倒産法実務 / ジェンダーと法 / 高齢者・障害者問題	<b>展開・先端科目</b> △ 倒産処理法Ⅰ / △ 倒産処理法Ⅱ / △ 国際私法Ⅰ / △ 国際私法Ⅱ / △ 国際公法 / △ 経済法 / △ 環境法 / △ 労働法 / △ 労働法演習Ⅰ / △ 労働法演習Ⅱ / △ 租税法 / △ 知的財産法 / 民事執行・保全法 / 医療福祉と人権 / 環境訴訟の実務 / 保険法 / 交通事故賠償論 / 自治体法務論 / 社会保障法 / 刑事弁護論 / 実務刑罰論 / 子どもの権利 / 都市法 / 銀行取引と法 / 消費者法 / ハラスメント問題の法律実務 / 展開・先端系演習Ⅰ / 展開・先端系演習Ⅱ / 展開・先端系演習Ⅲ / 特別演習ⅠA / 特別演習ⅠB / 特別演習ⅡA / 特別演習ⅡB / 特別演習ⅢA / 特別演習ⅢB	

- 修了要件 ・標準修業年限は3年です。ただし、法学既修者は2年で修了できます。  
 ・98単位以上 (法律基本科目群から必修科目56単位及び応用科目の選択科目6単位以上。法律実務基礎科目群から必修科目9単位及び選択科目2単位以上。基礎法学・隣接科目群から選択科目4単位以上。展開・先端科目群から選択必修科目4単位を含む12単位以上。その他の選択必修科目及び選択科目から9単位以上) を修得すれば、法務博士 (専門職) の学位が授与されます。



## 司法試験在学中受験プログラム

司法試験を受験するためには、従来、法科大学院の課程の修了又は司法試験予備試験の合格が必要でしたが、法曹資格取得までの時間的・経済的負担の軽減を図るため令和5年司法試験から、新たに、法科大学院の在学学生であって、一定の要件を満たした学生については、在学中に司法試験を受験できることとなります。

本法科大学院でも、未修者コース及び既修者コースの学生が在学中受験にチャレンジできるように、「司法試験在学中受験プログラム」を設けています。

### ● 選抜方法

未修者コースは1年次後期成績発表後、既修者コースは入学選抜に合格後、申し込みを受け付け選抜します。  
2年次に優秀な成績で単位を修得する見込みがあることが選抜要件です。

### ● カリキュラム

通常課程のカリキュラムと異なる点は以下のとおりです。

- ・2年次修了までに修得すべき要件を満たすため、P.5記載のカリキュラム表中の「☆」の科目を2年次に履修し、「◇」の科目を3年次に履修
- ・2年次までに、法律基本科目・応用科目の選択科目から6単位以上履修
- ・2年次にP.5記載のカリキュラム表中の「△」の科目から4単位以上履修

### ● 在学中受験資格要件

次の(1)～(3)を全て満たさなければ在学中に司法試験を受験することができません。

- (1) 法律基本科目・基礎科目につき30単位以上
- (2) 法律基本科目・応用科目につき18単位以上
- (3) 展開・先端科目・選択必修科目(司法試験における選択科目)8科目の中から4単位以上

### ● 修了要件

通常課程と同様です。

## 長期在学履修制度

本法科大学院では、入学時に就業している、または入学後に就業する等の理由により、標準修業年限の3年間を超えた履修計画を有する方について、5年間での課程修了を認める長期在学履修制度を設けています。

長期在学履修制度は、未修者コース(標準修業年限:3年間で課程修了)のみ適用されます。

履修の申し出等の詳細は、令和6年度学生募集要項にて必ずご確認ください。

なお、出願前に制度の説明を希望される場合は、法科大学院までご相談ください。

※長期在学履修制度の「夜間コース」については、令和6年度入学選抜以降、当面の間、募集を一時停止します。

### ● 履修

未修者コースの授業科目を5年間で履修することによって、所定の98単位以上を修得し課程を修了することができます。

入学前の所定の期日までに履修計画書等を提出することにより、履修の可否を決定します。

### ● 学費

学費等は3年間分を5年間で納入していただきます。



## 入学前のサポート

## 法科大学院進学を考えている方へ

## ▶授業体験

実際の授業を受講し法科大学院の雰囲気や体験できます。授業実施期間内に各科目一人1回まで受講可能です。

主に1年次生が受講する授業への参加となります。

申込みをすれば、どなたでも参加可能です。

## ▶早期履修制度

本学法学部在学中に法科大学院の授業科目を履修できます。

修得した単位は、本法科大学院進学時に所定の手続きを経て、既修得単位として認定されます。

## ▶科目等履修生制度

法科大学院の受験資格を有する方が法科大学院の授業科目を履修できます。

修得した単位は、本法科大学院進学時に所定の手続きを経て、既修得単位



## 法科大学院入学予定の方へ

## ▶入学予定者ガイダンス/OB・OGとの交流会

入学後の学修や生活をイメージしやすくするために、入学後の学修について説明を行うガイダンス、弁護士等として活躍する修了生との交流会を開催しています。

## ▶プレセミナー

特に法学未修者が法律になじみ、4月からの本格的な勉学に弾みをつけてもらうことを目的として、「憲法」「民法」「刑法」「法情報・法文書入門」のプレセミナーを実施しています。

学修方法などに関する具体的なアドバイスを受けることもできます。

## ▶授業への参加

入学予定者の方を対象に、法的思考力を身に付けることを目的として、法科大学院1年次生と一緒に実際の法科大学院の授業に参加する機会を設けています。

## ▶担任制

入学前から担任制を導入しています。

学修上の相談ができるように、専任教員が一人ひとりをサポートします。

## ▶学修環境の利用

入学前から、在学生と同様の学修環境(自習室など)を利用し授業開始に向けての十分な準備をすることができます。

教育支援システムを利用して、判例を検索したり、システム内の「基礎力確認テスト」を受けて、理解度を確認したりすることにより、入学後の授業にスムーズに入れます。

## 在学中のサポート

## ▶担任制・個別面談

担任制をとり、個別面談を行うなど学生一人ひとりの学修・生活面を担当がサポートします。

小テスト成績等の情報を集約した「学生カード」によって、各学生の学力状況や問題点などを適切に把握し個別指導を行います。

## ▶チューター制度

本法科大学院出身の若手弁護士が、履修上の悩みや学修方法の相談、各科目の具体的な質問に至るまで、幅広くきめ細やかに支援します。

令和5年度  
チューター ▶ 前田 恭輔 弁護士 ▶ 神崎 達範 弁護士 ▶ 高村 欣光 弁護士

## ▶アカデミック・アドバイザー

豊富な実務経験を有する弁護士が、法律基本科目の重要ポイントを押さえたゼミを開講して学修を支援し、基本科目の一層の理解を図ります。

令和5年度  
アカデミック・  
アドバイザー ▶ 佐野 俊明 弁護士 ▶ 柴尾 知宏 弁護士 ▶ 中谷 正太 弁護士  
▶ 神崎 達範 弁護士 ▶ 藤田 大輝 弁護士



## ▶司法試験受験対策講座

8月の「司法試験体験受験会」や「短答集中ゼミ」、さらに司法試験前の「もう一押しゼミ(論文対策)」で、教員による徹底した司法試験受験対策支援を行います。司法試験に合格した修了生からは、司法試験合格につながったという感想がよく聞かれます。

## ▶模擬試験受験料補助

経済面での負担を軽減し、模擬試験を受験する機会を増やすために、「TKC全国統一模試」などの模擬試験の受験料の一部補助を行っています。





## 修了後のサポート

### ▶ 法曹を目指す方

#### 法務研修生制度

本法科大学院修了者を対象に、「法務研修生」制度を設けています。

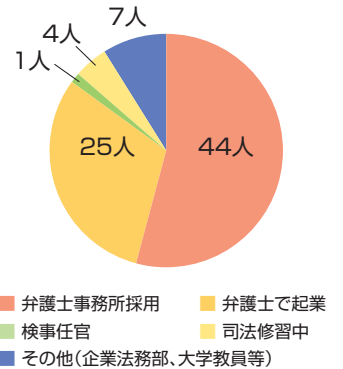
司法試験に向けて、受験準備期間中も、学内施設の利用やチューターによる個別指導、アカデミック・アドバイザーによる学修支援、司法試験受験対策講座、模擬試験受験料補助などについては在学中と同様の環境が保障され、安心して勉強に集中できる体制をとっています。

また、修了後も継続的なサポートを行うため、担任制を導入しています。

#### 司法試験合格後の就職支援

本法科大学院を修了した弁護士による「就職活動説明会」、社会人になった時に役立つ内容を盛り込んだ「就職活動マナー講座」を開催しています。

司法試験合格者進路先(81人)

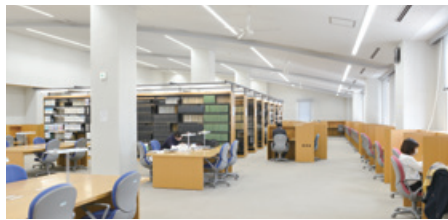


### ▶ 法曹以外の進路を目指す方

#### 法曹以外の進路(公務員・民間企業法務部等)など多様な進路選択を支援

本法科大学院修了者向けに、九州・山口地区の企業の説明会実施に取り組んでいます。

また、企業などからの求人情報を随時発信し、進路指導担当教員による個別相談が受けられる体制を整えています。



## 時間割

### 法学未修者コース 1年次生(例)

※は必修科目

時限	時間	期別	月	火	水	木	金
1限目	9:00~10:30	前期	※憲法I(基本的人権論)	憲法演習I		刑法演習	
		後期	※憲法II(統治機構論)		※民法III(担保物権法)		
2限目	10:40~12:10	前期		アジア法制度論	※民法IV(債権総論)	刑事訴訟法入門	※民法VII(家族法)
		後期		※刑法II(総論・各論)		※民事訴訟法I	法と企業会計
3限目	13:00~14:30	前期	※民法I(総則)	※刑法I(総論)		裁判制度概論	
		後期	※刑法III(各論)	法律基本演習		※民法V(契約法)	※行政法I(行政過程論)
4限目	14:40~16:10	前期				判例講読	
		後期					
5限目	16:20~17:50	前期					
		後期	法と医学				※民法VI(不法行為法)
6限目	18:30~20:00	前期			※民法II(物権法)	法情報・法文書入門	
		後期				法と情報	

# 教員紹介 (令和5年4月1日現在)

福岡大学法科大学院は、12人の専任教員が中心となり、16人の学内非常勤講師(兼任)及び20人の学外非常勤講師(兼任)とともに実践的な教育指導にあたっています。その構成は、教育能力に優れた研究者教員に加え、実務家教員として経験豊かな元裁判官、元検察官、弁護士など多彩な陣容となっています。



## 専任 12人 (うち実務家教員5人)

**青木 亮** AOKI Makoto  
教授

弁護士・元判事  
民事訴訟実務

**新屋 達之** SHINYA Tatsuyuki  
教授

法学修士  
刑事訴訟法

**井上 能孝** INOUE Yoshitaka  
准教授

経済学修士  
商法

**雨宮 啓** AMEMIYA Hiroshi  
教授

弁護士  
民事法、銀行法務

**平江 徳子** HIRAE Tokuko  
教授

弁護士、元検事  
刑事法実務

**大庭 沙織** OBA Saori  
准教授

修士(法学)  
刑法

**石松 勉** ISHIMATSU Tsutomu  
教授

法学修士  
民法

**三隅 珠代** MISUMI Tamayo  
教授

弁護士  
刑事法実務、民事法実務

**児玉 弘** KODAMA Hiroshi  
准教授

修士(法学)  
行政法

**木村 道也** KIMURA Michiya  
教授

弁護士  
刑事法実務、民事訴訟実務

**村上 英明** MURAKAMI Hideaki  
教授

博士(法学)  
憲法、地方自治法

**藤村 賢訓** FUJIMURA Masanori  
准教授

修士(法学)  
民法

## 兼任 16人 (学内非常勤講師)

**屋宮 憲夫** OKUMIYA Norio  
教授

福岡大学法学部

**奥村 勝** OKUMURA Masaru  
教授

福岡大学情報基盤センター

**永光 信一郎** NAGAMITSU Shinichiro  
教授

福岡大学医学部

**芳賀 真一** HAGA Shinichi  
准教授

福岡大学法学部

**小野寺 一浩** ONODERA Kazuhiro  
教授

福岡大学法学部

**久保 真一** KUBO Shinichi  
教授

福岡大学医学部

**野田 慶太** NODA Keita  
教授

福岡大学病院臨床研究支援センター

**吉村 力** YOSHIMURA Chikara  
准教授

福岡大学医学部

**北坂 尚洋** KITASAKA Naohiro  
教授

福岡大学法学部

**小玉 正太** KODAMA Syota  
教授

福岡大学医学部

**四元 房典** YOTSUMOTO Fusanori  
教授

福岡大学医学部

**平澤 卓人** HIRASAWA Takuto  
講師

福岡大学法学部

**下田 大介** SHIMODA Daisuke  
教授

福岡大学法学部

**白石 武史** SHIRAIISHI Takeshi  
教授

福岡大学病院臓器移植医療センター

**和田 秀一** WADA Hideichi  
教授

福岡大学医学部

**中村 伸理子** NAKAMURA Noriko  
講師・弁護士

福岡大学病院医療安全管理部

## 兼任 20人 (学外非常勤講師)

**石田 光史** ISHIDA Koji  
弁護士

**佐野 俊明** SANO Toshiaki  
弁護士

**前田 恭輔** MAEDA Kyosuke  
弁護士

**稲場 悠介** INABA Yusuke  
弁護士

**佐野 誠** SANO Makoto  
弁護士

**前田 牧** MAEDA Maki  
弁護士

**木村 元昭** KIMURA Motoaki  
弁護士

**下稲葉 順一** SHIMOINABA Junichi  
医師

**山下 昇** YAMASHITA Noboru  
九州大学大学院 法学研究院  
教授

**久保井 撰** KUBOI Setsu  
弁護士

**知名 健太郎定信** CHINA Kentarousadanobu  
弁護士

**山下 義昭** YAMASHITA Yoshiaki

**後藤 富和** GOTO Tomikazu  
弁護士

**西川 佳代** NISHIKAWA Kayo  
横浜国立大学大学院  
国際社会科学研究院  
教授

**李 黎明** LI Leimei

**佐古田 彰** SAKOTA Akira  
西南学院大学  
法学部 教授

**林 秀文** HAYASHI Hidefumi  
公証人 元判事

派遣裁判官

**佐渡 麻奈美** SADO Manami  
弁護士

**平野 互** HIRANO Wataru



# Study Environment

## 学修環境



法科大学院の授業は、法科大学院棟内で行われます。

棟内には、講義室、演習室、研究室のほか、自習室、模擬法廷教室、コンピュータラボ室、指導室などがあり、快適な学修環境が保たれています。また、無線LAN(Wi-Fi)が利用可能な環境も整備されており、各種の法律関連の電子資料が学内ネットワークを通して棟内から利用できます。

### 施設・設備

#### 講義室・演習室 5F・6F

授業や教科指導に使用します。また、演習室はアカデミック・アドバイザーによる指導の際も使用します。

#### コンピュータラボ室 5F

法科大学院LANで結ばれた計10台のパソコンその他のOA機器が配備された施設です。

オープン利用の施設として情報検索、文書やプレゼンテーション資料の作成などに自由に利用できます。

#### 自習室(164席) 3F

入退室管理システムを備えた、本法科大学院生であれば自由に利用できる施設です。(図書・資料を備えています。)

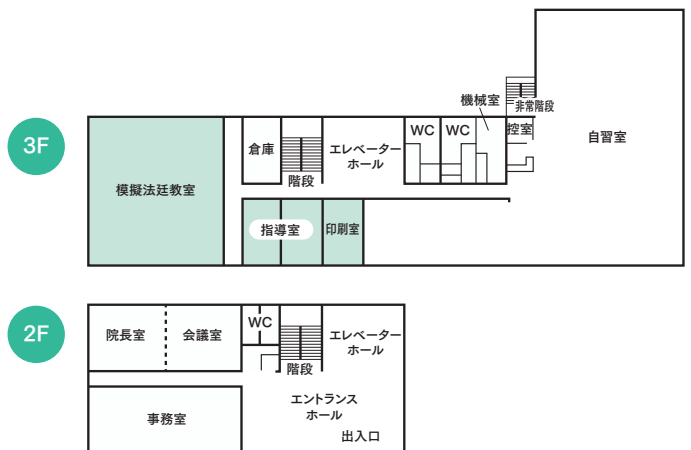
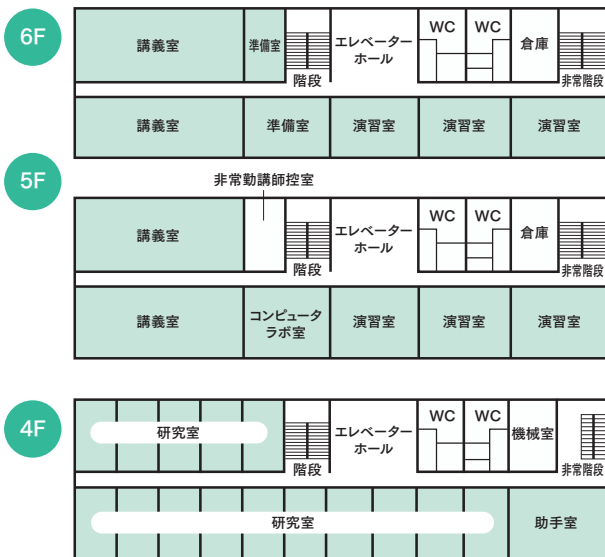
広いスペースの中で、落ち着いて学習することができます。

#### 模擬法廷教室 3F

実際の法廷を再現した教室です。「民事実務演習」「刑事実務演習」では、この模擬法廷教室で模擬裁判を行うなど、実務を強く意識した教育を行っています。

#### 指導室 3F

学生に対する個別的な学修指導等を行います。



模擬法廷教室



コンピュータラボ室



自習室

### 関連施設

大学内の図書館、学生食堂、健康管理センター、ヒューマン・ディベロップメントセンター等の施設を利用できます。



#### 福岡リーガルクリニック法律事務所

学内の学生・教職員のみならず一般の方にも広く法的サービスを提供する目的で、平成22年に設立された大学キャンパス内の法律事務所です。

また、本法科大学院における臨床法学教育の支援、本法科大学院出身弁護士の実務能力養成の支援等の機能も担っており、法科大学院を医学部に例えるならば、大学病院的な存在です。

# 在学生の声



## 小林 啓晃

KOBAYASHI Hiroaki

法学未修者コース3年次生

■出身大学・学部  
東京大学法学部

社会人経験あり  
(勤務年数41年、海外勤務含む)

「二生を生きる」という人生の目標を実現すべく最年長者として入学。司法試験はフェアでクリーン、勝ち負けが明確に出る言い訳なしの点取りゲーム。未修者・少人数教育が特徴の法学部で教授されることを精確に答案化できれば合格できます。スポーツと同じで準備がすべて。受験席についた時には勝負はついています。初見の問題に遭遇した時の心地よい緊張感、創意工夫して解法を会得する楽しさ。ゲーム性と学術的な面白さ。準備を尽くして人助け(恩返し)をしたいと思っています。

### ある1日のスケジュール

- 5:30 起床 直ちにIC勉  
(ICレコーダーに録音した  
法律知識の吸収)
- 5:55 朝食
- 6:25 テレビ体操・筋肉体操・筋トレなど  
(ながらIC勉)
- 6:55 短答ドリル IC録音
- 7:45 自転車で登校(ながらIC勉)
- 9:00 授業
- 10:40 自習室にて自習  
(天気が良ければ構内庭園でIC録音)
- 12:00 昼食 短答ドリル
- 13:00 授業2コマ
- 16:10 自転車で下校(ながらIC勉)
- 17:00 中央区体育館にてバイクトレーニング  
(ながらIC勉)
- 18:40 入浴(ながらIC勉)
- 19:00 夕食
- 19:45 勉強 IC録音
- 22:00 就寝

## 比嘉 結衣

HIGA Yui

法学未修者コース3年次生

■出身大学・学部  
福岡大学法学部

社会人経験なし

本法学部では、授業のほかにも各科目の教科指導が開講されています。先生それぞれに特色があり、判例の深掘りや答案作成などを通じ、授業や自習の際に身につけた知識をアウトプットすることで、答案上での知識の使い方を習得することができます。

また、一学生につき一人担任の先生がつき、勉強や生活面で不安がある際に相談がしやすいのも本法学部の魅力の一つだと思います。

### ある1日のスケジュール

- 6:30 起床、朝食、準備
- 8:45 登校
- 9:00 授業(憲法)
- 10:40 自習(刑法の予習)
- 12:10 昼休み
- 13:00 自習(刑法の予習、短答対策)
- 14:40 授業(刑法)
- 16:20 授業(法と医学)
- 18:00 帰宅、夕食
- 19:00 問題演習
- 21:00 運動、入浴
- 22:00 判例を読む
- 23:30 就寝

## 金崎 哲平

KANASAKI Teppei

法学未修者コース2年次生

■出身大学・学部  
熊本大学法学部

社会人経験なし

本法学部の魅力として、学生と先生方の距離の近さが挙げられると思います。授業だけでなく、自由参加の教科指導、自主ゼミ等もいただけるため、先生方から多くのことを学べますし、質問もかなりしやすいです。

また、学生一人一人に担任の先生がおり、学修面のことはもちろん、大学院内の環境についても不満がないか丁寧に聞いてくださるため、学修しやすい環境が日々整えられていると思います。

### ある1日のスケジュール

- 7:00 起床、朝食
- 8:00 登校
- 9:00 授業(憲法)
- 10:40 教科指導(憲法)
- 12:10 昼休み
- 13:00 授業(民法Ⅰ)
- 14:40 自習(民法の復習)
- 16:20 教科指導(民法)
- 18:00 自習(民法Ⅱの予習)
- 21:00 帰宅、夕食、入浴
- 23:00 自習(復習等)
- 24:00 就寝

## 川野 優斗

KAWANO Yuto

法学未修者コース2年次生

■出身大学・学部  
福岡大学法学部

社会人経験なし

本法学部の魅力は、先生方との距離が近く、未修者教育に特化しているところにあります。自習室の上に先生方の研究室があり、質問や相談に行きやすい環境です。法律の学修においては、すぐに理解できないことが多いです。その一方で、授業は進むので、院生活に不安や焦りを感じますが、環境が整っている分、不安や疑問を解消しやすいです。

また、民法は幅広い分野ですが、講義をⅠ～Ⅶに細分化し、丁寧な授業をしてくださいます。他にも、授業の補助及び強化対策として、教科指導やアカデミックアドバイザーがあり、基礎知識の定着やその使い方を学ぶことができる環境が備わっています。

### ある1日のスケジュール

- 7:00 起床
- 8:00 登校 自習(刑法の予習)
- 10:40 授業(行政法Ⅰ)
- 12:10 昼休み
- 13:00 授業(刑法Ⅱ)
- 14:30 授業終了・自習(民法Ⅲ)
- 16:10 教科指導(民法)
- 17:50 授業終了・帰宅・夕食
- 19:00 再登校・自習室
- 23:50 帰宅
- 1:00 就寝





## 司法試験合格者の声(令和4年合格)

### 野田 尚輝

出身大学・学部  
福岡大学法学部

社会人経験なし



私が、司法試験に合格できたのは、分かりやすい授業がなされ、また、少人数であるため、能動的に授業に参加することができ、楽しみながら勉強できたからだと思います。法科大学院で勉強する時間は長いようでとても短いです。その中で、自分が何のために勉強するのかを忘れずに、常に司法試験合格という目的を意識して日々の学習に取り組んでみて下さい。法曹になった皆さんとお会いできることを楽しみにしています。

### 小野 貴裕

出身大学・学部  
福岡大学法学部

社会人経験なし

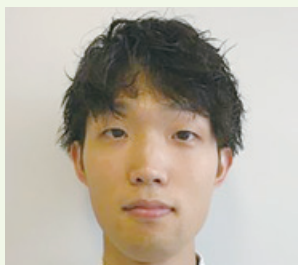


私が司法試験に合格した理由は、福岡大学法科大学院の環境にあったといえます。十分なスペースのある自習室、先生方との距離の近さ、同じ志を持つ先輩、同級生、後輩の存在と合格に必要なものは全て揃っています。あとはその環境を活かして勉強するだけです。勉強が辛く、苦しく感じることもあるかと思いますが、それを乗り越えれば必ず結果がついてきます。1人でも多く司法試験に合格することをお祈りしております。

### 福丸 智温

出身大学・学部  
西南学院大学  
法学部国際関係法学科

社会人経験なし



私にとって法曹は、一度あきらめた夢でしたが法学部に入学するきっかけを与えてくれ、ロースクール入学を後押ししてくれました。司法試験受験時代くじけそうになったとき、なぜ自分は法曹になりたいのかいつもロースクール入学時の初心に立ち返って自分を奮い立たせていました。今している勉強は必ず実を結ぶことを信じて一日一日を大切に過ごしてください。きっとその先に今の自分とは違った自分に出会えます。

### 浦宗 祐

出身大学・学部  
鹿児島大学法文学部

社会人経験なし

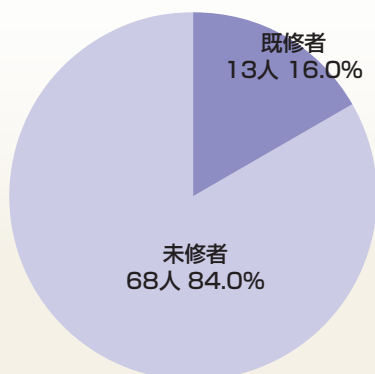


法科大学院では、毎日の勉強を通して、大学時代とは比べ物にならないくらい法学と向き合うことができ、司法試験合格に必要な知識を身に付けるだけでなく、法学の面白さに気付くことができました。毎日の勉強は大変でしたが、私のこれからの法曹人生を豊かにしてくれると思っています。正しい努力を続けていけば、必ず報われます。勉強がなくなったときも諦めず、自分を信じて頑張ってください。

## 司法試験合格実績

### 今までの司法試験合格者の内訳

法学未修者・法学既修者別



本法科大学院からは、多彩な人材を法曹界へ送り出しています。

出身大学別	出身学部別	社会経験の有無
福岡大学 26人	法学部 63人	社会人 27人
九州大学 14人	経済学部 3人	非社会人 54人
西南学院大学 6人	文学部 2人	
中央大学 5人	法文学部 2人	
北九州市立大学 4人	薬学部 2人	
熊本大学 4人	経営学部 1人	
早稲田大学 2人	工学部 1人	
青山学院大学 1人	商学部 1人	
鹿児島大学 1人	総合科学部 1人	
京都大学 1人	総合管理学部 1人	
熊本県立大学 1人	第三学群 1人	
慶應義塾大学 1人	発達科学部 1人	
神戸学院大学 1人	文化教育学部 1人	
神戸大学 1人	理工学部 1人	
佐賀大学 1人		
島根大学 1人		
首都大学東京 1人		
成蹊大学 1人		
創価大学 1人		
筑波大学 1人		
同志社大学 1人		
長崎大学 1人		
名古屋大学 1人		
日本大学 1人		
広島大学 1人		
広島修道大学 1人		
立命館大学 1人		

# 入試情報 学費・奨学金

## 入学者選抜日程・方法

詳細の情報は、令和6年度学生募集要項にて必ずご確認ください。

※特別選抜3人程度  
(既修者コース5人程度に含む)

①募集人員 20人 未修者コース15人程度 既修者コース5人程度

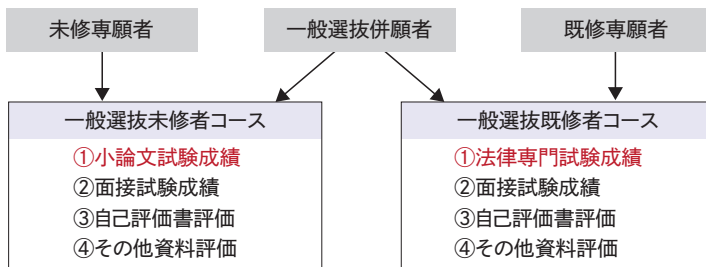
### ②試験日程

日程	出願期間	試験日	合格発表日
A日程	令和5年 6月12日(月) ~ 6月16日(金)	令和5年 7月 1日(土)	令和5年 7月 18日(火)
B日程	令和5年 9月19日(火) ~ 9月22日(金)	令和5年 10月14日(土)	令和5年 10月30日(月)
C日程	令和6年 1月 9日(火) ~ 1月12日(金)	令和6年 2月 3日(土)	令和6年 2月19日(月)

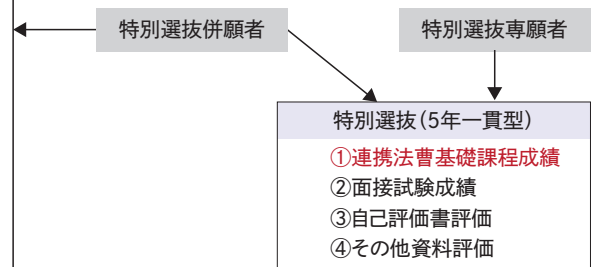
※災害(台風、その他)等により試験が実施できない場合は、試験日を翌日に延期します。

### ③選抜方法

#### 一般選抜【A日程・B日程・C日程共通】



#### 特別選抜【B日程】



#### 一般選抜について

- ・未修者コースでは、出願者から提出された書類に加え、小論文試験の成績及び面接試験の成績により、原則として評価点の高い方から順に合格者を選考します。
- ・既修者コースでは、出願者から提出された書類に加え、法律専門試験の成績及び面接試験の成績により、原則として評価点の高い方から順に合格者を選考します。

#### 一般選抜併願制度

各日程とも、既修者コースと未修者コースを併願することができます。なお、併願しても検定料は同じです。

※合否判定は、まず既修者コースについて行います。次に既修者コースを不合格となった方については、未修者コースの志願者として合否判定をします。  
なお、未修者コースの合否判定に際しては、法律専門試験の成績は一切考慮されません。

#### 特別選抜について

令和5年度入学者選抜から5年一貫型教育選抜方式\*による特別選抜を実施しています。  
5年一貫型教育選抜方式による特別選抜は、筆記試験を課さず、学部成績、面接試験によって選抜します。

\* 本法学大学院と連携協定を締結している法曹コース(福岡大学法学部「法曹連携基礎クラス」)の修了見込又は修了した者、かつ、早期卒業見込又は卒業見込の者のみ受験可能

特別選抜では、出願者から提出された書類に加え、面接試験の成績により、原則として評価点の高い方から順に合格者を選考します。

#### 特別選抜併願制度

B日程において、同日に一般選抜の未修者コースもしくは既修者コース又は両コースを併願することができます。なお、併願しても検定料は同じです。

※合否判定は、一般選抜を併願する場合、まず特別選抜試験について行います。特別選抜試験を不合格になった方については、併願の状況に応じ、以下のとおり合否判定をします。

- ◇一般選抜未修者コースの併願者は、次に未修者コース試験の合否判定をします。
- ◇一般選抜既修者コース併願者は、次に既修者コース試験の合否判定をします。
- ◇一般選抜既修者コース及び未修者コース併願者は、次に既修者コース試験の合否判定をし、既修者コース不合格者は、未修者コースの合否判定をします。なお、未修者コースの合否判定に際しては、既修者コースの法律専門試験の成績は一切考慮されません。

### ④入学検定料 15,000円





## 入学者選抜の状況・結果

		令和5年度		令和4年度	令和3年度
		一般選抜	特別選抜		
志願者 (人)	既修者コース	24	6	15	7
	未修者コース	54		44	24
	合計	78 (うち併願13)	6	59(うち併願11)	31(うち併願6)
受験者 (人)	既修者コース	23	6	14	7
	未修者コース	52		43	23
	合計	75	6	57	30
合格者 (人)	既修者コース	1	0	1	0
	未修者コース	32		26	15
	合計	33	0	27	15
競争倍率(%)		2.27	-	2.11	2.00

令和5年度入学者選抜概況	
志願者	84人(一般選抜既修者:24人 一般選抜未修者:54人 特別選抜既修者:6人)
合格者	33人(一般選抜既修者:1人 一般選抜未修者:32人) ・平均年齢 28.6歳 ・男性 25人 女性 8人 ・社会人 11人 非社会人 22人 ・法学系 27人 非法学系 6人
入学者	24人(既修者:1人 未修者:23人)

## 学費等納入金

入学金・授業料等		
入学金	本学学部卒業・本学大学院修了	55,000円
	他大学卒業・他大学院修了	110,000円
授業料	年額	600,000円
教育充実費	年額	120,000円
委託徴収金	年額	18,100円※

長期在学履修者(5年間)の学費等は、授業料および教育充実費の3年間分を5年間で納入します。

※ 年次等により金額は異なります。

## 奨学金制度

名称	種別	人数	奨学金の額	利子	返還期間	支給実績(人)		
						令和4年度	令和3年度	令和2年度
福岡大学	特待生奨学金	入学時:5人以内 入学2年次:3人以内 入学3年次:3人以内	年額 60万円 (授業料相当額)	-		3	6	5
	準特待生奨学金	入学時:5人以内 入学2年次:3人以内 入学3年次:3人以内	年額 30万円 (授業料半額相当額)	-		6	8	7
	高田法曹育成 基金奨学金	各年次:2人程度	年額 96万円 (月額8万円)	-		2	3	4
日本学生 支援機構	第一種奨学金	日本学生支援機構 からの内示による	月額 50,000円 又は 88,000円	無利子	最長 20年	14	8	14
	第二種奨学金	日本学生支援機構 からの内示による	月額 50,000円 80,000円 100,000円 130,000円 150,000円	有利子	最長 20年	4	1	4

・特待生奨学金及び準特待生奨学金の入学2年次以降については、前年度の成績、GPA等の支給基準により該当者に支給します。既修者の特待生奨学金については、2人を限度として入学2年度においても給付されることがあります。(ただし、成績優良の場合)

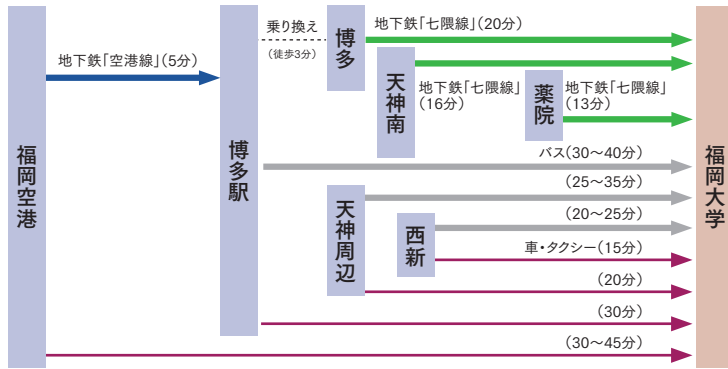
・高田法曹育成基金奨学金は、福岡大学法学部を卒業して本法科大学院に入学し、成績が優秀と認められたものが対象となります。

・上記の内容は、標準修業年限3年(既修者コースは修業年限2年)の場合の内容です。長期在学履修の場合には、内容が異なります。

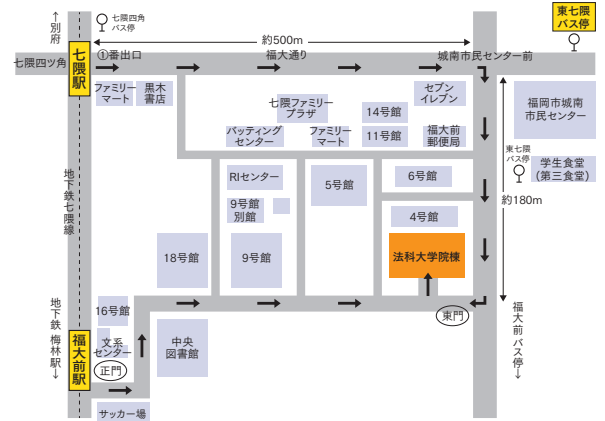
# 福岡大学アクセスマップ



## 大学へのアクセス方法



## 福岡大学法科大学院までの経路図



### ■ 本法科大学院までの所要時間

地下鉄七隈線／「七隈駅」(①番出口)からの所要時間：徒歩約8分 ※「福大前駅」よりも「七隈駅」からの経路が簡単です。  
 西鉄バス／16番・12番「東七隈バス停」からの所要時間：徒歩約2分 114番・140番「七隈四角バス停」からの所要時間：徒歩約10分



## 福岡大学法科大学院

INSTITUTE FOR LEGAL PRACTICE FUKUOKA UNIVERSITY

〒814-0180 福岡市城南区七隈八丁目19番1号

福岡大学大学院事務課 (法科大学院事務室)

TEL ▶ 092-871-6631 (代表) FAX ▶ 092-865-7075

URL ▶ <https://www.ilp.fukuoka-u.ac.jp/>

E-mail ▶ [houka@adm.fukuoka-u.ac.jp](mailto:houka@adm.fukuoka-u.ac.jp)

